

Derwent Data Analyzer (DDA) では、企業レポートを含む自動レポート機能を利用でき、すばやく詳細な分析を行うことができます（企業比較レポートおよび技術レポートも参照）。企業レポートは、人名、機関名、国、年、技術に基づいて単一の譲受人を分析し、Excel ファイルのレポートを作成します。

Derwent Innovation で検索を実行し、結果をエクスポート

包括的な譲受人検索を実行

1. 企業レポートを実行する譲受人/出願人を決定
2. 包括的な譲受人/出願人の検索をさまざまなフィールドとともに実行（例：コーポレートツリー、譲受人/出願人フィールド、最新-米国、DWPI 出願人コード、代理人フィールドなど）
3. 検索を実行
4. 任意で、「DWPI ファミリーを取得」の選択や、折りたたみ単位で「出願番号」を選択

データをエクスポート

1. [エクスポート] をクリックし、[エクスポートとレポートのオプション] メニューを表示
2. [フォーマット] で、[Derwent Data Analyzer] を選択
3. 予測データの法的状況の情報（有効/無効、推定有効期限、推定残存期間）を含む、DDA での分析に最適なフィールドが割り当てられています
4. 任意でファイル名を指定し、[作成] をクリック

注記: 作成されるファイルには、拡張子 **pdf** が付加されます。インポート処理を DDA 上で実行する代わりに、pdf ファイルをダブルクリックするだけで、自動的に DDA が起動し、インポート処理が開始されます。

Derwent Data Analyzer で企業レポートを作成

企業レポートに対して、譲受人/出願人フィールドを選択するためのヒント

正確なレポートを作成するには、手動のクリーンアップを実施することを推奨しています。例えば、[譲受人/出願人] フィールドに対しては、DDA の当該フィールドで、最終的なリストから個人を除去したものをを使用することをおすすめします。また、このリストのさらなるクリーンアップが必要となります。これは、M&A、スペルエラー、企業名のわずかな差異によって、DDA の自動化アルゴリズムではマッチしないためです。その他のフィールドについては、デフォルトではないフィールドでレポートを実行したほうが役立つ場合があります。

譲受人/出願人フィールド

譲受人/出願人コード-DWPI (数)
譲受人/出願人コード-DWPI
譲受人/出願人 (ロング)
譲受人/出願人 (ベスト)
譲受人/出願人 (クリーン-個人を除く)
譲受人/出願人 (クリーン)

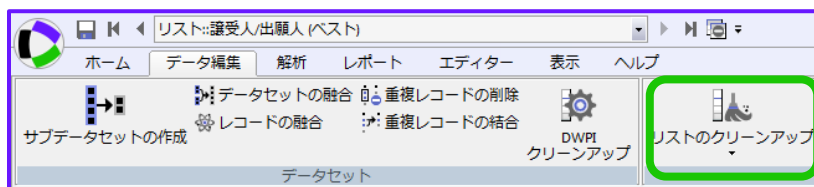
1. サマリー画面で、譲受人/出願人フィールドを探す
2. [譲受人/出願人 (クリーンアップ済み - 個人を除く)] をダブルクリック

その他のフィールドは？

- [譲受人/出願人] は、オリジナルの譲受人です。
- [譲受人/出願人 (ベスト)] は、DWPI 譲受人データの階層に従います。
- [譲受人コード - DWPI] は、企業に割り当てられた 4 桁のコードです。大企業に対しては、DWPI コードの使用をおすすめします。

リストのクリーンアップ

コード数	出願回数	譲受人/出
1643	1643	INTEL CORPORATION
58	58	INTEL CORP
8	8	INTEL CORPORATION SC4-202
3	3	BERLIN A A
3	3	KOO T
2	2	CHAN S
2	2	SU X



サマリー画面のフィールドをダブルクリックするとリストが表示されます。左の上図には、最も頻出する譲受人/出願人のデータが表示されます。

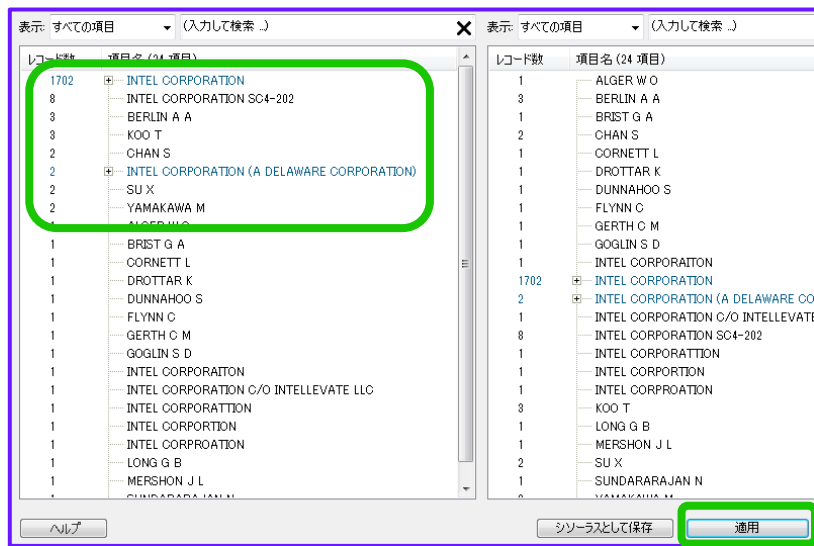
リストを元に分析を開始し、棒グラフや円グラフ、ワードクラウドを作成します。

ただし、リストの分析を開始する前に、データをクリーンアップしてください。

1. リボン上のデータ編集タブをクリック
2. [リストのクリーンアップ] アイコンをクリック
3. [リストのクリーンアップ] 画面では、[Organization Names.fuz] という名称のファジーマッチ フィルターを選択
4. [適用] ボタンをクリックし、自動クリーンアップを実行

自動クリーンアップが完了した後、[クリーンアップ確認] 画面を表示（この画面で、自動処理の結果を手動で変更することもできます）

リストのクリーンアップ



リストの自動クリーンアップを実行した後、ファジーマッチ フィルターによって結合された項目が表示されます。

ある企業を他の企業の上にドラッグ&ドロップすることで、さらにクリーンアップを改善することができます。

例えば、左図では、フィルターによって認識された 2 つの異なる企業名 (INTEL CORPORATION および INTEL CORPORATION (A DELAWARE CORP)) が表示されています。同一の企業が別々の名称で表示されている場合、両者をドラッグ&ドロップで一つにまとめることができます。リストの中のこれらの項目は結合されて分析されます。

[部分一致項目を検索] や [入力して検索] などを利用して、一致しやすくすることができます。

任意で、この結合をシソーラスとして保存することができます。今後の処理で適用することもできます。

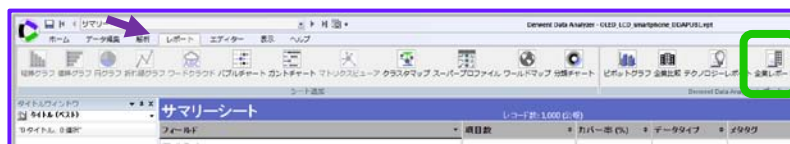
[適用] をクリックし、新規リストを作成します。

企業レポートのためのフィールド選択のヒント

企業レポートには、クリーンアップされたデータが最も適しています。新たにクリーンアップされた譲受人/出願人を分析に使用します。その他のフィールドについては、デフォルトではないフィールドでレポートを実行したほうが役立つ場合があります。年データおよび国データとして、出願年/国、出願年/国 (ベーシック)、優先権主張年/国、公報発行年/日などのデータを利用すると別の見方を行うことができます。例えば、[優先権主張年 - 最先] は、その技術の権利保護が開始された年について示し、発行国はターゲットとなるマーケットの国、優先権主張国はアイディアの起源となった国を示します。技術は分類コードによって表されますが、DWPI マニュアルコードに縛られることなく、より大まかな分類の DWPI クラスや IPC キッチワードも利用することをおすすめします。

企業レポートの実行とデータカテゴリの設定

DDA クリーンアップを実施したファミリーベースの DDA ファイルであることを確認してください。このファイルは、インポート時に自動的に作成されます。



1. リボン上で [レポート] をクリックし、[企業レポート] を選択します。
2. データがクリーンアップされたものであるかどうか確認され、そうでない場合はクリーンアップ処理後に実行します。

各分野の適切なフィールドを選択してください。

次の指摘があった場合:
メタタグの不足 - その分野の正しいフィールドであることを確認します。
x% のみカバー - 正しい結果が得られない可能性があります。
再度 [OK] をクリックして、確認します。

人名: 発明者 (クリーン) ▼

機関名: 譲受人/出願人 (クリーン個人を除く) ▼

国/地域: 優先権主張国 ▼

年: 優先権主張年 (最先) ▼

技術: 分類-DWPI マニュアルコード ▼

デフォルトに戻す OK キャンセル

企業レポートのための 5 つの主なカテゴリが表示されます。

- [人名] - 通常、発明者
- [機関名] - 譲受人、または任意に作成した譲受人のグループ
- [国] - 優先権主張国 (発明がなされた地域) または DWPI ファミリーメンバー国 (出願先の国)
- [年] - 優先権主張年 - 最先 (発明がなされた時期)
- [技術] - DWPI マニュアルコード (Derwent 分類システム) または IPC が技術の比較に利用されます

企業レポートを利用する

Clarivate Analytics

Derwent Data Analyzer
企業レポート

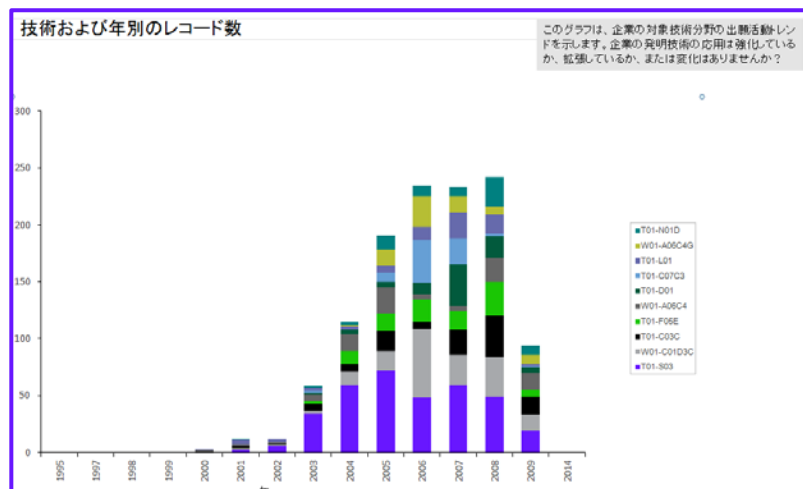
企業名: 1696
レコード数: 1995 - 2014
年範囲: 2006 [336 レコード]
レポート作成日: 2018/3/4

関係者: 発明者 (クリーン) 2449 100%
機関名: 譲受人/出願人 (クリーン) 2102 100%
地域: 優先権主張国 4 100%
年: 優先権主張年 (最先) 15 100%
技術: 分類-DWPI マニュアルコード 2017 99%

Derwent Data Analyzer Company Report は、特定の範囲内で特定の譲受人の詳細な分析を効率的に作成し、提供できるようにします。この情報により、特定会社の概要や、その会社内の活動を見極めることができます。

1. 企業レポートは、Microsoft Excel 上に表示
2. このレポートの [概要] シート上に要約情報を表示
3. [要約] 欄には、企業分析、レコード数、年の範囲、レポート作成日を表示
4. [対象範囲] 欄には、分析されたデータを表示 (例: 選択により優先権主張国か発行国)
5. 参照する分析情報を左上のリンクから選択するか、各 Excel シートを直接選択

レポートの結果の説明



各シート右上にあるグレーのテキスト欄には、それぞれのレポートの説明が表示されます。各シートの情報は、以下のような疑問を解決するのに役立ちます：

- その企業のトップのテクノロジーは何か？
- 経時的、特許発行国、テクノロジーにトレンドはあるか？
- 主要な発明者および共同出願人は誰か？

左のグラフは、優先権主張年を元に、DWPI マニュアルコードで示されているテクノロジーごとのレコード数を表示しています。これにより、企業のポートフォリオの主要な技術領域、技術の多様性、およびその他の技術トレンドについてすばやく確認することができます。